

一 読み

/12

二 画数

/4

三 送りなが

/5

四 熟語の構成

/6

五 部首

/6

六 対義語

/6

七 書き取り

/16

合計

/55

合格のめやす

39問(7割)

一 線の漢字の読みを、ひらがなで書きましょう。

① あたらしい年がはじまる。

② 音楽の時間に笛をふく。

③ おじいちゃんの古い本をよむ。

④ 紙を破る。

⑤ 筆で年がじょうを書く。

⑥ はんこを紙に刷る。

⑦ かん字の読み方をおぼえる。

⑧ ふしぎな物語を読む。

⑨ 佐賀県は、九州にある。

⑩ 九月にうどんどうかいがある。

⑪ チャイムが鳴る。

⑫ 水が勢いよく出る。

二 次の漢字は、何画で書きますか。数字で書きましょう。

① 眼

画

② 暑

画

③ 量

画

④ 炭

画

三

——線のことばを、漢字一字と送りがなで書きましょう。

れい

くるまがとまる。

止まる

① けわしい山道をのぼる。

② 後ろにしりぞく。

③ 学期のはじめに目ひようを立てる。

④ たなの上の本をとる。

⑤ 布をあかくそめる。

四

次の熟語の組み立ては、「」の「ア」～「エ」のどれにあたりますか。記号で書きましょう。

ア 同じような意味の漢字を組み合わせたもの（れい 岩石）

イ 反対や対になる意味の漢字を組み合わせたもの（れい 左右）

ウ 上の漢字が下の漢字をくわしくしているもの（れい 青空）

エ 下の漢字が「く」を「く」に「に」にあたるもの（れい 読書）

① 最良

--

② 除雪

--

③ 消毒

--

④ 新種

--

⑤ 就職

--

⑥ 干満

--

⑤
力 (がい)

貝 (かい)

④
語 (えい)

③
発 (が)

廿 (くさかんむり)

②
く (まね)

①
術 (ぎ)

才 (てへん)

休 (やすむ)

れい
イ (にんべん)

五 部首がつく漢字を□に書きましょう。□の右は読みです。

⑥
寒冷 (⇕)

寒冷 (⇕)

⑤
病氣 (⇕)

病氣 (⇕)

④
結果 (⇕)

結果 (⇕)

③
減少 (⇕)

減少 (⇕)

②
客観 (⇕)

客観 (⇕)

①
可決 (⇕)

可決 (⇕)

「おんだん けんこう ぞうか ひけつ げんいん
しゅかん」

れい
大きい ⇕ 小さい

六 反対の意味のことはを、「」から
えらんで漢字で書きましょう。

⑥
しい (ます)

七

——線のことばを、漢字で書きましよう。

① くつばこには出せきばんごうが書いてある。

② バスはえきのみなみぐちから出る。

③ なくした物をさがす。

④ 黒ばんの字をノートにうつす。

⑤ くつをはんたいの足にはいてしまった。

⑥ 絵の具をまぜる。

⑦ せいじにきょうみをもつ。

⑧ ひるになったらおべんとうをたべよう。

⑨ 公園でごみをひろう。

⑩ あかいふうせんをもった。

⑪ 朝たいそうをする。

⑫ 大きなそんしつを出した。

⑬ あいけんといっしょにさんぽする。

⑭ ねっしんにべんきょうする。

⑮ こんばんは早くねむる。

⑯ 学校でげきを見る。

